

大阪駅ナカが“開かれたスナック”に！ 「EXPO KARAOKE SNACK BATTLE」開催レポート

国際色豊かな26組が参加、歌と笑いが生んだ2日間のリアル交流

2025年7月19日(土)・20日(日) 19:00～ / 大阪ステーションシティ「時空の広場」

オンラインスナック横丁文化株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：五十嵐真由子）は、JOYSOUND（株式会社エクシング）とタッグを組み、2025年7月19日（土）・20日（日）の2日間にわたり、大阪ステーションシティ「時空の広場」にて、スナック×カラオケ×国際交流をテーマとしたイベント「EXPO KARAOKE SNACK BATTLE」を開催いたしました。本イベントは、訪日外国人や若者、ファミリーなど多様な人々が集い、歌い、つながる新たな社交の場であると同時に、スナック文化と公共空間を掛け合わせたナイトタイムエコノミーの新たな可能性を探る、実験的な取り組みとしても大きな注目を集めました。



大阪駅構内の中心、大阪ステーションシティ「時空の広場」に設置されたステージ上に現れたのは、まるで本物のスナック。ステージにはママが座るカウンターが設けられ、観客も“スナック客”としてその場に参加。駅ナカにしながらスナックの空気を味わえる、ユニークで非日常的な空間が広がりました。

イベント参加者である歌手は“スナックに入店したお客さん”という設定で登場し、ママや観客の前で熱唱。外国人や親子連れを含む全26組が出演し、JOYSOUNDの本格的なカラオケ機材と音響が支える臨場感の中、国籍や世代を超えてつながる、温もりあふれるステージが繰り広げられました。イベントは、元日本テレビアナウンサーの小倉淳氏と“スナック文化の語り部”ことスナック横丁代表・五十嵐真由子の進行によって、スナック特有の“対話と空気感”が軽妙なトークとともにステージに再現され、JOYSOUNDの「分析採点」機能やママたちのコメント、ママから参加者の歌唱に対して“NGカード”の演出も加わることで、会場は自然と一体感に包まれ、響き渡る歌声は通行人や来場者を巻き込みながら笑顔と拍手の輪を広げました。

駅ナカという公共空間にスナック文化を再構築したこの取り組みは、ナイトタイムエコノミーの可能性を広げるモデルケースとして、注目を集めています。（協力：JR西日本ステーションシティ株式会社）

本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

「スナック横丁」 PR担当 TEL：03-6820-0210 snack@makepr.pro

駅ナカが“スナック空間”に！非日常と多様性が交差する、前例のない文化体験

イベントを彩った3つの“スナック的”体験ポイント！

イベント当日は、歌やトーク、そして“接客”まで、まさにスナックならではの体験が駅ナカで繰り広げられました。そんな本イベントを象徴するのが、以下の3つの“スナック的”体験ポイントです。

◆スナック的体験①：多国籍・多世代が交わる、にぎやかなステージ

カラオケステージには、関西在住のストリートミュージシャンやシンガーソングライターをはじめ、エジプト、フィリピン、韓国など多国籍の参加者が続々と登場。さらに親子連れや学生など、年齢や国籍を越えた出演者たちが、同じステージで歌声を響かせました。採点機能に加え、ママたちによるリアルな審査コメントや、ステージ上で突然出される“NGカード”など、まさにスナックらしいライブ感とユーモアに満ちた演出が満載。笑いと歓声にあふれる、スナック的な交流空間が駅ナカに広がりました。



◆スナック的体験②：会話が生む、笑いと共感のステージ

MCを務めたのは、元日本テレビアナウンサーの小倉淳氏と、全国1,000軒以上のスナックを訪れた“スナック文化の語り部”こと「スナ女®」五十嵐真由子。スナック横丁の代表でもある五十嵐は、単なる司会にとどまらず、自らママとの“かけあい”や観客を巻き込んだトークを繰り広げ、スナックならではのゆるやかで親密な“対話の面白さ”を体現しました。テレビ番組のような軽快な進行と、スナック的な人間味あふれるやりとりが融合したこの演出は、初めてスナック文化に触れる人々にも分かりやすく、温かく、笑いの絶えない時間となり、多くの来場者にとって新鮮な文化体験となりました。



本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

「スナック横丁」 PR担当 TEL：03-6820-0210 snack@makepr.pro

◆スナック的体験③：ママとのふれあいが生む、あたたかな空気

ステージの審査員席やブースには、関西を代表する現役スナックママ3名が登場。夜の街でしか会えないママたちが、駅ナカで観客と気さくに言葉を交わし、歌う参加者にはリアルなコメントを届ける。そんな“スナック的接客”が、会場にやさしくあたたかな空気を生み出しました。スナック文化を知らなかった若者や外国人からも「ママがとても話しやすくて親しみを感じた」「スナックのイメージが変わった」といった声が続出。スナックの魅力を体感する入口として、多くの人の心をやわらかく開く体験となりました。



スナック文化が都市をひらく！公共空間×交流の新しいナイトタイムエコノミー

大阪万博開催期間中、国内外から多くの人々が行き交う大阪駅ナカという象徴的な場所で、日本独自のスナック文化を発信できたことも、本イベントの大きな意義のひとつです。

ステージでは、外国人や親子連れが熱唱し、観客は笑顔で手拍子を送り、ママのコメントに笑い起きるなど、言語や世代を超えたあたたかな交流が自然と生まれました。

また会場には「スナックの楽しみ方」やスナックの文化的背景を紹介する日英併記のパネルを設置。興味を持った来場者には、スタッフが日本語・英語の両方で丁寧に説明し、スナックを知らない外国人旅行者や若年層にもその魅力を伝えることができました。

こうした“夜の社交文化”を公共空間にひらく取り組みは、ナイトタイムエコノミーの新たな可能性を示すと同時に、スナックという地域資源が都市のにぎわいや国際交流を生み出すきっかけにもなり得る。その手応えを感じさせる貴重な機会となりました。



本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

「スナック横丁」 PR担当 TEL：03-6820-0210 snack@makepr.pro

様々な企業とコラボ！スナック業界を盛り上げるエンタメ集団「スナック横丁」とは



全国1,000軒以上のスナックを訪れた“スナ女®”五十嵐真由子
が代表を務める「オンラインスナック横丁文化株式会社」は、
スナックという日本独自の文化を現代に再定義し、新たな経
済価値と社会的意義を創出するカルチャービジネスを展開し
ています。2020年の創業以来、全国のスナックと連携した体
験型プログラム、訪日外国人向けスナックツアー®、オフィ
ススナック®、スナック専門メディアの運営に加え、地方自
治体やJR西日本、JTB、アサヒビールなどとの共創プロジェ
クトを次々と展開。Z世代やインバウンド層にとっての“初め
ての夜の入り口”として、企業にとっては“共創によるファンづ
くりの現場”として、これまでにない価値を提供しています。
その取り組みは「日本中小企業大賞」や「内閣府CJPFアワー
ド」など、数々のアワードでも高く評価されています。

公式HP：<https://snackyokocho.com/>

スナックメディア「スナックへいらっしやい」：<https://www.snackyokocho.com/>

Instagram：<https://www.instagram.com/snackyokocho/>

TikTok：https://www.tiktok.com/@snackyokocho_japan

Facebook：<https://www.facebook.com/onlinesnackyokocho/>

協力企業のご紹介

株式会社エクシングは曲数No.1※1 を誇る業務用通信カラオケ「JOYSOUND」を展開。歌う楽しさを追求し続
けるだけでなく、カラオケルームで観て楽しめるコンテンツを満載したサービス「みるハコ」や、カラオケが
持つ「つながる」価値を拡張すべく誕生したエンターテインメント・プラットフォーム「X PARK」の取り組み
を通じて、新たなエンタテインメント空間としての価値創造を目指しています。



JOYSOUNDが“歌いたい！”の声に応える 新プロジェクト
『全力入曲』始動！

あなたの“歌いたい”がカラオケを動かす「#押しリクエスト王」、
街頭インタビューで“本当に歌いたい曲”を浮き彫りにする企画も
進行中！

<https://www.joysound.com/web/s/pr2025/zenryoku/>

株式会社エクシング 会社概要

社名：株式会社エクシング

設立：1992年5月6日

所在地：〒460-0855 愛知県名古屋市中区瑞穂区桃園町3番8号

代表者：代表取締役社長 水谷 靖

事業内容：業務用通信カラオケ機器「JOYSOUND」シリーズの企画・開発・製造・販売、カラオケ関連コンテ
ンツの配信、スマートフォン向けアプリ開発、音楽・映像配信サービス、エンターテインメント施設向けソ
リューション提供、地域活性化支援事業など

URL：<https://xing.co.jp/>

※1：2025年7月時点、(株)エクシング調べ。ご利用されるお部屋の環境や設定によっては、一部機能をご利用
いただけない場合がございます。

本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

「スナック横丁」 PR担当 TEL：03-6820-0210 snack@makepr.pro